

第 1 3 章 商業

第 1 教科目標，評価の観点及びその趣旨	商 - 1
第 2 各科目の評価の観点の趣旨	商 - 1
第 3 原則履修科目における内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例	商 - 3
ビジネス基礎	商 - 3
第 4 単元の評価に関する事例	商 - 9
ビジネス基礎	商 - 9

第 1 3 章 商業

第 1 教科目標，評価の観点及びその趣旨

1 教科目標

商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ，ビジネスに対する望ましい心構えや理念を身に付けさせるとともに，ビジネスの諸活動を主体的，合理的に行い，経済社会の発展に寄与する能力と態度を育てる。

2 評価の観点及び趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
ビジネスの諸活動に関する諸問題について関心をもち，その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに，ビジネスに対する望ましい心構えや実践的な態度を身に付けている。	ビジネスの諸活動に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し，創意工夫する能力を身に付けている。	商業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け，ビジネスの諸活動を合理的に計画し，適切に処理するとともに，その成果を的確に表現する。	商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け，ビジネスの意義や役割を理解している。

第 2 各科目の評価の観点の趣旨

	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
ビジネス基礎	ビジネスの諸活動に広く関心をもち，その意義や役割の理解及び諸問題の探究を目指して意欲的に取り組むとともに，経済社会の一員としての望ましい心構えや態度を身に付けている。	ビジネスに関する諸問題を経済生活との関連から的確に把握し，自ら思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し，創意工夫する能力を身に付けている。	ビジネスに関する基礎的・基本的な技術と望ましい心構えを身に付け，経済社会の一員としてビジネスの諸活動を適切に処理するとともに，その成果を的確に表現する。	商業を学ぶ目的や学び方を理解するとともに，ビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身に付け，経済社会におけるビジネスの意義や役割を理解している。
簿記	企業における取引の記録・計算・整理について関心を持ち，その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに，ビジネスの諸活動を計数的に把握する実践的な態度を身に付けている。	企業における取引の記録・計算・整理に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し，創意工夫する能力を身に付けている。	企業における取引の記録・計算・整理に関する基礎的・基本的な技術を身に付け，ビジネスの諸活動を計数的に把握し，適切に処理するとともに，その成果を的確に表現する。	企業における取引の記録・計算・整理に関する基礎的・基本的な知識を身に付け，簿記の基本的な仕組みについて理解している。
情報処理	情報処理機器の活用について関心をもち，その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに，ビジネスの諸活動に関する情報を，適切に収集，処理し活用する実践的な態度を身に付けている。	情報処理機器の活用に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し，創意工夫する能力を身に付けている。	情報処理機器の活用に関する基礎的・基本的な技術を身に付け，ビジネスの諸活動に関する情報を適切に収集，処理するとともに，その成果を的確に表現する。	情報処理機器の活用に関する基礎的・基本的な知識を身に付け，ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割を理解している。

商品と流通	商品と流通に関する諸問題について関心をもち、その改善向上を目指して意欲的に取り組むとともに、商品開発や流通の諸活動に主体的に対応する実践的な態度を身に付けている。	商品と流通に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	商品と流通に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、商品開発や流通の諸活動を適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。	商品と流通に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、ビジネスの創造の意義や役割を理解している。
国際ビジネス	企業の経営、経済活動に関する諸問題について関心をもち、その改善向上を目指して意欲的に取り組むとともに、国際的なビジネスの諸活動に適切に対応する実践的な態度を身に付けている。	企業の経営、経済活動に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	企業の経営、経済活動に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、国際的なビジネスの諸活動を適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。	企業の経営、経済活動に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、国際社会の一員としての心構えを理解している。

第3 必履修科目における内容のまとめりごとの評価規準及び具体例

ビジネス基礎

1 目標

ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ、経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けさせるとともに、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。

2 評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
ビジネスの諸活動に広く関心をもち、その意義や役割の理解及び諸問題の探究を目指して意欲的に取り組むとともに、経済社会の一員としての望ましい心構えや態度を身に付けている。	ビジネスに関する諸問題を経済生活との関連から的確に把握し、自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	ビジネスに関する基礎的・基本的な技術と望ましい心構えを身に付け、経済社会の一員としてビジネスの諸活動を適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。	商業を学ぶ目的や学び方を理解するとともに、ビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、経済社会におけるビジネスの意義や役割を理解している。

3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準及び具体例

商業においては、学習指導要領の内容の(1)や(2)などの単元を内容のまとめりとして、これらごとに評価規準を作成した。なお、アやイなどの小単元の内容については、学習指導要領解説から引用した。

(1) 商業の学習ガイダンス

【学習指導要領の内容】

ア 商業を学ぶ目的と学び方

ここでは、商業を学ぶことで、豊かな人間性、創造性、ビジネスの理解力と実践力など、ビジネスの基礎・基本の能力を身に付けることができることを理解させるとともに、自ら学ぶ目標を定め、自ら学び、自ら考えるなどの主体的な学び方や生涯にわたり専門的能力を向上させる継続的な学び方について理解させる。

イ 商業の学習分野

ここでは、商業の学習分野である流通ビジネス、国際経済、簿記会計、経営情報の4分野の科目や科目の内容に触れるとともに、各分野が目指しているビジネスの理解力と実践力であるマーケティング能力、国際交流能力、会計活用能力、情報活用能力の意義について理解させる。

また、学習分野と資格取得との関係や卒業後の進学先や就職先など進路についてのガイダンスを行い、将来のスペシャリストとして必要とされる専門性の基礎・基本の学習の重要性について理解させる。

【内容のまとめりごとの評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
商業の学習ガイダンスに関心をもち、商業を学ぶ目的と学び方及び商業の学習分野の意義について、意欲的に調べたりまとめたりしようとする。	商業を学ぶ目的と学び方及び学習分野について、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識を活用して主体的、継続的な学び方や自らの進路をとらえている。	商業を学ぶ目的と学び方及び学習分野に関する様々な資料を活用して、商業の学習分野と進路のかかわりについて把握するとともに、その過程及び結果を具体的に説明する。	商業の学習ガイダンスに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、商業の学習と進路の結び付きの大切さを理解している。

【内容のまとめりごとの評価規準の具体例】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・商業を学ぶ目的と学び方に関心をもち、なぜ商業科目を学ぶのか、どのような学び方が大切になってきているのかについて、意欲的に調べた	・なぜ商業科目を学ぶのか、どのような学び方が大切になってきているのかについて、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識	・なぜ商業科目を学ぶのか、どのような学び方が大切になってきているのかについて、様々な資料を活用して把握するとともに、その過程及び	・商業を学ぶ目的と学び方に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、なぜ商業科目を学ぶのか、どのような学び方が大切になってきているのか

りまとめたりしようとする。	を活用して主体的な学び方や継続的な学び方をとらえている。	結果を具体的に説明する。	かを理解している。
・商業の学習分野に関心をもち、商業の学習分野の目指す能力や科目の内容と資格取得との関係及び学習分野と進路とのかかわりについて、意欲的に調べたりまとめたりしようとする。	・商業の学習分野の目指す能力や科目の内容と資格取得との関係及び学習分野と進路とのかかわりについて、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識を活用して自らの進路をとらえている。	・商業の学習分野の目指す能力や科目の内容と資格取得との関係及び学習分野と進路とのかかわりについて、様々な資料を活用して把握するとともに、その過程及び結果を具体的に説明する。	・商業の学習分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、目指す能力や科目の内容と資格取得との関係及び自らの学習と進路の結び付きの大切さを理解している。

(2) 経済生活とビジネス

【学習指導要領の内容】

ア ビジネスの役割

ここでは、生産・流通・消費という経済の仕組みと、その担い手である家計・企業・政府の関係について理解させるとともに、企業が行う経済的諸活動の総称であるビジネスの意義や役割について、身近な事例を取り上げて理解させる。

イ ビジネスの発展

ここでは、我が国におけるビジネスの発展について、国際化、情報化、サービス化、科学技術の進展等、経済を取り巻く環境の変化と関連させて理解させる。また、地球環境問題、エネルギー問題への対応など新たなビジネスの課題についても触れ、ビジネスの創造の重要性について理解させる。

ウ ビジネスに対する心構え

ここでは、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に行うための望ましい人間関係、社会性、倫理観など豊かな人間性と主体性、自己責任の観念、独創性などの創造的な能力を身に付けることの重要性に触れ、ビジネスに対する心構えについて理解させるとともに、起業家精神や企業経営に関する理念を取り上げて、ビジネスに対する望ましい考え方について理解させる。

【内容のまとめりとごとの評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
経済生活とビジネスのかかわりに関心をもち、ビジネスの役割とその発展について、意欲的に調べたりまとめたりしようとする。また、ビジネスに対する心構えを身に付けようとする。	ビジネスの役割やその発展及びビジネスに対する心構えについて、経済社会の一員として様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識を活用してビジネスに関する諸問題を見付けている。	ビジネスの役割やその発展及びビジネスに対する心構えについて、様々な資料を活用して把握し具体的に説明するとともに、ビジネスに対する基本的な心構えを身に付け実践する。	経済生活とビジネスのかかわりに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、経済の仕組みやビジネスの役割とその発展及びビジネスに対する基本的な心構えを理解している。

【内容のまとめりとごとの評価規準の具体例】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・ビジネスの役割に関心をもち、生産・流通・消費という経済を支える仕組みとビジネスの意義や役割について、身近な事例を意欲的に調べたりまとめたりしようとする。	・生産・流通・消費という経済を支える仕組みとビジネスの意義や役割について、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識を活用して経済の担い手である家計・企業・政府の関係をとらえている。	・生産・流通・消費という経済を支える仕組みとビジネスの意義や役割について、様々な資料を活用して把握するとともに、身のまわりの経済生活と結び付けて具体的に説明する。	・ビジネスの役割に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生産・流通・消費という経済を支える仕組みとビジネスの意義や役割を理解している。
・ビジネスの発展及び	・経済を取り巻く環境	・経済を取り巻く環境	・ビジネスの発展及び

<p>新たな課題に関心をもち、経済を取り巻く環境の変化との関連及びそれに伴う諸課題について、意欲的に調べたりまとめたりしようとする。</p> <p>・ビジネスに対する心構えに関心をもち、ビジネスの諸活動を遂行するためには豊かな人間性や創造性及び心構えが大切であることを気付き、意欲的にそれを身に付けようとする。</p>	<p>の変化とビジネスの発展について、身のまわりの経済生活を通して考察するとともに、基礎的・基本的な知識を活用してそれに伴う諸課題に気付いている。</p> <p>・ビジネスの諸活動を遂行するために必要な豊かな人間性や創造性及び心構えについて、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識を活用して経済社会の一員としてビジネスに対する望ましい考え方をとらえている。</p>	<p>の変化とビジネスの発展について、様々な資料を活用して把握し具体的に説明するとともに、ビジネスの諸課題を見付け出す力を身に付けている。</p> <p>・ビジネスの諸活動を遂行するために必要な豊かな人間性や創造性について、様々な資料を活用して把握し具体的に説明するとともに、基本的な心構えを身に付け実践する。</p>	<p>新たな課題に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、経済を取り巻く環境の変化との関連及び、ビジネスの創造の重要性を理解している。</p> <p>・ビジネスに対する心構えに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、ビジネスの諸活動を遂行するために豊かな人間性や創造性及び心構えが大切であることを理解している。</p>
---	---	---	---

(3) ビジネスと流通活動

【学習指導要領の内容】

ア 経済活動と流通

ここでは、生産・流通・消費という経済の仕組みを通して流通の意義や役割について理解させるとともに、生活水準の向上や生産の高度化によって生産と消費の隔たりが大きくなり、流通の役割が大きくなっていることについて理解させる。

イ 流通活動の特徴

ここでは、生産と消費の隔たりを結び付ける流通の機能を取り上げて、流通活動全体に共通する経済的特徴を、小売業の業種、業態の変化とかかわらせて理解させる。

ウ 流通活動と企業

ここでは、流通活動を円滑に行うために、企業は環境変化に対応した形態をとり、社内を組織してきたことについて理解させる。また、一般的な企業の形態や組織の概要について理解させるとともに、商品の流通に関連した諸活動であるマーケティングについても触れる。

エ ビジネスの担当者

ここでは、卸売・小売業、金融・保険業、運輸・通信業、サービス業など流通に関連するビジネスの担当者を取り上げて、その活動の概要について理解させる。

【内容のまとめりとごとの評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<p>ビジネスと流通活動のかかわりに関心をもち、経済活動における流通の経済的特質やその担い手である企業及びビジネスの担当者について、意欲的に調べたりまとめたりしようとする。</p>	<p>流通活動の特徴やその担い手である企業について、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識を活用して流通活動の諸問題の因果関係や相互関係をとらえている。</p>	<p>流通活動の特徴やその担い手である企業に関する様々な資料を活用して、ビジネスと流通活動とのかかわりについて把握するとともに、その過程や結果を具体的に説明する。</p>	<p>ビジネスと流通活動に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、流通の意義や役割及びビジネスの担当者の活動の概要を理解している。</p>

【内容のまとめりとごとの評価規準の具体例】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<p>・経済活動と流通のかかわりに関心をもち、流通の意義や役割について、身近な事例を意欲的に調べ</p>	<p>・生産・流通・消費という経済の仕組みの中における流通の意義や役割について、様々な角度から考察</p>	<p>・生産・流通・消費という経済の仕組みの中における流通の意義や役割について、様々な資料を活用し</p>	<p>・経済活動と流通に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、流通の意義や役割が大きくなっているこ</p>

<p>たりまとめたりしようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流通活動全体に共通する特徴に関心を持ち、生産と消費の隔たりを結び付ける流通の働きや仕組みについて、意欲的に調べたりまとめたりしようとする。 ・流通活動と企業のかかわりに関心を持ち、流通の担い手である企業の形態や経営組織及び実際の流通活動について、意欲的に調べたりまとめたりしようとする。 ・生産・流通・消費という経済の仕組みの中における流通に関連するビジネスの担当者に関心を持ち、その種類や役割及び活動の概要について、意欲的に調べたりまとめたりしようとする。 	<p>するとともに、基礎的・基本的な知識を活用して流通活動の諸問題を見付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産と消費の隔たりを結び付ける流通の働きや仕組みについて、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識を活用して流通活動の経済的特徴や変化をとらえている。 ・流通の担い手である企業の形態や経営組織の在り方について、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識を活用して流通活動と企業の相互関係をとらえている。 ・生産者、卸売・小売業、金融・保険業、運輸・通信業、サービス業など流通に関するビジネスの担当者について、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識を活用してその活動の動向をとらえている。 	<p>て流通活動の諸問題を把握するとともに、その過程や結果を具体的に説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産と消費の隔たりを結び付ける流通の働きや仕組みに関する様々な資料を活用して、流通活動の経済的特徴や変化を把握するとともに、その過程や結果を具体的に説明する。 ・流通の担い手である企業の形態や経営組織に関する様々な資料を活用して、実際の流通活動を把握するとともに、その過程や結果を具体的に説明する。 ・生産者、卸売・小売業、金融・保険業、運輸・通信業、サービス業など流通に関するビジネスの担当者について、様々な資料を活用して、活動の動向を把握するとともに、その過程や結果を具体的に説明する。 	<p>とを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流通活動全体に共通する特徴に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生産と消費の隔たりを結び付ける流通の働きや仕組みを理解している。 ・流通活動と企業のかかわりに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、流通の担い手である企業の形態や経営組織及び実際の流通活動の概要を理解している。 ・生産・流通・消費という経済の仕組みの中における流通に関連するビジネスの担当者について、基礎的・基本的な知識を身に付け、その種類や役割及び活動の概要を理解している。
--	--	--	---

(4) ビジネスと売買取引

【学習指導要領の内容】

ア 売買取引と代金決済

ここでは、売買契約の意義、売買契約の条件、売買契約の締結と履行、さらに代金の決済など売買取引に関する基礎的な内容について理解させる。その際、電子商取引、電子マネーについても理解させる。

イ 売買に関する計算

ここでは、分数、小数、百分率、割合などの表示の方法と計算、商品の数量と代価の計算、仕入原価と売価の計算、利益率の計算、売買に必要な度量衡、外国貨幣の計算及び換算について理解させる。なお、計算は演習問題等で慣れさせる程度とし、用具は適切なものを使用させる。

【内容のまとめりとごとの評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<p>ビジネスと売買取引のかかわりに関心を持ち、流通活動における売買取引、代金決済の仕組み及び売買計算の方法について、意欲的に確認しようとする。</p>	<p>売買取引と代金決済及び売買に関する計算について、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識と技術を活用して売買取引の手順や計算方法及び代金決済手段の諸問題を見付けている。</p>	<p>売買取引と代金決済及び売買に関する計算について、様々な資料を活用して、各種の計算方法を把握するとともに、売買取引の代金決済について適切に処理する。</p>	<p>ビジネスと売買取引に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、流通活動における売買取引、代金決済の仕組み及び売買計算の方法を理解している。</p>

【内容のまとめりごとの評価規準の具体例】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・ 売買取引の成立に関心をもち、売買契約の意義や売買契約の条件及び締結と履行など売買取引の手順について、意欲的にまとめたり確認しようとする。 ・ 売買取引における代金の決済方法に関心をもち、支払い用具の特色や利用法について、意欲的にまとめたり確認しようとする。 ・ 売買取引の中で行われる計算に関心をもち、数の表示の方法と計算及び売買に関する各種の計算について、意欲的に計算したり確認しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品の品質，数量，価格など売買契約の条件及び締結と履行の方法について，様々な角度から考察するとともに，基礎的・基本的な知識を活用してその合理性をとらえている。 ・ 通貨や小切手・クレジットカードなど売買取引における代金の決済方法について，様々な角度から考察するとともに，基礎的・基本的な知識を活用して決済手段の諸問題を見付けている。 ・ 分数，小数，百分率，割合など数の表示の方法と売買に関する各種の計算について，様々な角度から考察するとともに，基礎的・基本的な知識と技術を活用してその結果の妥当性を判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品の品質，数量，価格など売買契約の条件及び締結と履行の方法について，様々な資料を活用して把握するとともに，売買取引の手順を具体的に説明する。 ・ 通貨や小切手・クレジットカードなど売買取引における代金の決済方法について，様々な資料を活用して把握するとともに，それらの特色や利用法などを具体的に説明する。 ・ 分数，小数，百分率，割合など数の表示の方法と売買に関する各種の計算について，様々な資料を活用して把握するとともに，売買に関する各種の計算を適切に処理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売買取引の成立に関する基礎的・基本的な知識を身に付け，売買契約の意義や売買契約の条件及び締結と履行など売買取引の手順を理解している。 ・ 売買取引における代金の決済方法に関する基礎的・基本的な知識を身に付け，その特色や利用法を理解している。 ・ 売買取引の中で行われる計算に関する基礎的・基本的な知識を身に付け，数の表示の方法と売買に関する各種の計算方法を理解している。

(5) 外国人とのコミュニケーション

【学習指導要領の内容】

ア コミュニケーションの方法

ここでは、国際化の進展に伴い、ビジネスにおいて外国人とのコミュニケーションの機会が増加していることについて理解させるとともに、聞くこと、話すこと、など、態度を交えた基本的なコミュニケーションの方法を習得させる。

イ コミュニケーションの心構え

ここでは、外国人に対して、相手の立場を尊重し積極的に交流するなど、ビジネスにおいて外国人と円滑にコミュニケーションを行うための心構えについて理解させる。

ウ 日常の会話

ここでは、国内において外国人と接する場面を取り上げ、日常よく用いられる身近な会話に慣れ親しませるとともに、我が国の日常生活の過ごし方を外国人に正しく紹介するための、基礎的な知識を習得させる。

【内容のまとめりごとの評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<p>外国人とのコミュニケーションに関心をもち、国内においてビジネスで外国人に接する場合のコミュニケーションの方法や心構え及び日常の会話について、意欲的にまとめた</p>	<p>コミュニケーションの方法やその心構えについて、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識と技術を活用して日常の会話に親しみ、外国人とのコミュニケーション</p>	<p>コミュニケーションの方法やその心構えについて、様々な資料を活用して把握するとともに、国内において外国人と接したときの身近な会話を考え適切に表現する。</p>	<p>外国人とのコミュニケーションに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、国内においてビジネスで外国人に接する場合のコミュニケーションの方法や心構え及び日常の会話の大</p>

り確認したりしようとする。	ンの諸問題を見付けている。	切さを理解している。
---------------	---------------	------------

【内容のまとめりごとの評価規準の具体例】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスにおける外国人とのコミュニケーションに関心を持ち、聞くこと、話すこと、など態度を交えた基本的なコミュニケーションの方法について、意欲的にまとめたり確認しようとする。 ・ビジネスにおいて外国人と円滑にコミュニケーションを行うための心構えに関心を持ち、相手の立場を尊重し積極的に交流するなどコミュニケーションの心構えについて、意欲的にまとめたり確認しようとする。 ・我が国の日常生活の過ごし方を外国人に正しく紹介することに関心を持ち、国内において外国人と接する場面を想定し、よく用いられる身近な会話の習得に意欲的に取り組もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞くこと、話すこと、など態度を交えた基本的な外国人とのコミュニケーションの方法について、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識と技術を活用して国際化の進展に伴う諸問題を見付けている。 ・相手の立場を尊重し積極的に交流するなど、ビジネスにおける外国人とのコミュニケーションの心構えについて、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識と技術を活用してコミュニケーションの諸問題を見付けている。 ・国内において、外国人と接する場面でよく用いられる身近な会話について、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識と技術を活用してその場面や状況ごとの諸問題を見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞くこと、話すこと、など態度を交えた基本的な外国人とのコミュニケーションの方法について、様々な資料を活用して把握するとともに、その過程や結果を具体的に説明する。 ・相手の立場を尊重し積極的に交流するなど、ビジネスにおいて外国人と円滑にコミュニケーションを行うための心構えについて、様々な資料を活用して把握するとともに、その過程や結果を具体的に説明する。 ・国内において、外国人と接する場面でよく用いられる身近な会話について、様々な資料を活用して把握するとともに、その場面や状況に応じて適切に聞いたり話したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスにおける外国人とのコミュニケーションに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、聞くこと、話すこと、など態度を交えた基本的なコミュニケーションの方法を理解している。 ・ビジネスにおいて外国人と円滑にコミュニケーションを行うための心構えに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、外国人に対して相手の立場を尊重し積極的に交流することの大切さを理解している。 ・我が国の日常生活の過ごし方を外国人に正しく紹介するための基礎的・基本的な知識を身に付け、国内において、外国人と接する場面でよく用いられる身近な会話の大切さを理解している。

第4 単元の評価に関する事例

ビジネス基礎

ここでは、「ビジネス基礎」の単元(3)「ビジネスと流通活動」を受けて設定した小単元「ビジネスの担当者」について、指導と評価の工夫を行った事例を紹介する。

単元 (3)「ビジネスと流通活動」 第1学年 9・10月

- ア 経済活動と流通
- イ 流通活動の特徴
- ウ 流通活動と企業
- エ ビジネスの担当者

小単元名 エ ビジネスの担当者 (12時間)

1 小単元の目標

ここでは、生産者、卸売・小売業、金融・保険業、運輸・通信業、サービス業など流通に関するビジネスの担当者を取り上げて、その活動の概要について理解させる。

2 小単元の評価規準

【エ「ビジネスの担当者」】

	ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 技能・表現	エ 知識・理解
内容ごとのまの標準	・ビジネスと流通活動のかかわりに関心をもち、経済活動における流通の経済的特質やその担い手である企業及びビジネスの担当者について、意欲的に調べたりまとめたりしようとする。	・流通活動の特徴やその担い手である企業について、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識を活用して流通活動の諸問題の因果関係や相互関係をとらえている。	・流通活動の特徴やその担い手である企業に関する様々な資料を活用して、ビジネスと流通活動のかかわりについて把握するとともに、その過程や結果を具体的に説明する。	・ビジネスと流通活動に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、流通の意義や役割及びビジネスの担当者の活動の概要を理解している。
小単元の評価規準	・生産・流通・消費という経済の仕組みの中における流通に関連するビジネスの担当者に関心をもち、その種類や役割及び活動の概要について、意欲的に調べたりまとめたりしようとする。	・生産者、卸売・小売業、金融・保険業、運輸・通信業、サービス業など流通に関するビジネスの担当者について、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識を活用してその活動の動向をとらえている。	・生産者、卸売・小売業、金融・保険業、運輸・通信業、サービス業など流通に関するビジネスの担当者について、様々な資料を活用して、活動の動向を把握するとともに、その過程や結果を具体的に説明する。	・生産・流通・消費という経済の仕組みの中における流通に関連するビジネスの担当者について、基礎的・基本的な知識を身に付け、その種類や役割及び活動の概要を理解している。
学習活動における具体の評価規準	経済の仕組みの中における生産者のビジネスに関心をもち、その種類や役割及び活動の概要について、意欲的に調べたりまとめたりしようとする。 小売業における商品のパッケージに関する講義と実習に関心をもち、包装の実習について、意欲的に取り組もうとする。 経済の仕組みの中に	小売業における商品のパッケージについて、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識を活用して、パッケージが商品の購買にどのような影響を与えるかをとらえている。	小売業における商品のパッケージに関する講義と実習の内容について、様々な資料を活用して把握するとともに、その過程や結果を具体的に説明する。	経済の仕組みの中における生産者に関連するビジネスの担当者について、基礎的・基本的な知識を身に付け、その種類や役割及び活動の概要を理解している。 経済の仕組みの中

<p>における金融・保険業者のビジネスに関心を持ち、その種類や役割及び活動の概要について、意欲的に調べたりまとめたりしようとする。</p> <p>情報・通信業者における放送のデジタル化に関心を持ち、その動向やデジタル化の及ぼすメリットなどについて、意欲的に調べたりまとめたりしようとする。</p> <p>経済の仕組みの中におけるサービス業者のビジネスに関心を持ち、その種類や役割及び活動の概要について、意欲的に調べたりまとめたりしようとする。</p>	<p>情報・通信業者におけるデジタル放送について、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識を活用して、放送のデジタル化が自分の生活や経済にどのような影響を与えるかをとらえている。</p>	<p>情報・通信業におけるデジタル化が、10年後のテレビや携帯電話を含めた通信社会にどのような影響を与えるかについて、様々な資料を活用して把握するとともに、新しい姿を創造しその結果を具体的に説明する。</p>	<p>における金融・保険業に関連するビジネスについて、基礎的・基本的な知識を身に付け、その種類や役割及び活動の概要を理解している。</p> <p>経済の仕組みの中における運輸業に関連するビジネスについて、基礎的・基本的な知識を身に付け、その種類や役割及び活動の概要を理解している。</p> <p>経済の仕組みの中における情報・通信業に関連するビジネスについて、基礎的・基本的な知識を身に付け、その種類や役割及び活動の概要を理解している。</p> <p>経済の仕組みの中におけるサービス業に関連するビジネスについて、基礎的・基本的な知識を身に付け、その種類や役割及び活動の概要を理解している。</p>
---	---	--	---

(注) ここでは、内容のまとめりごとの評価規準は単元(3)「ビジネスと流通活動」のもの、小単元の評価規準は内容の「エ」の「ビジネスの担当者」のものとなっており、学習活動における具体的評価規準は、具体的な学習活動に即したものとなっている。なお、評価の重点化を図る観点から評価規準の絞り込みをしたところであるが、評価規準の番号については、分かりやすくするために横列で揃えた。

3 指導と評価の計画

(1) 授業の流れ

- 一次 「生産者、卸売・小売業のビジネスについて理解させる。」 …… (4時間)
- 二次 「金融・保険業のビジネスについて理解させる。」 …… (2時間)
- 三次 「運輸・通信業者のビジネスについて理解させる。」 …… (3時間)
- 四次 「サービス業者のビジネスについて理解させる。」 …… (3時間)

(2) 指導と評価の展開例

次程	ねらい・学習活動	学習活動における具体的評価規準との関連	評価方法等
一次 4時間 扱い	<p>1時間：生産者のビジネスについて理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の概念について理解する。 ・生産者の役割は、消費者ニーズにあった商品を消費者に提供することが基本的な役割であることを理解する。 ・生産者の種類について日本標準産業分類より理解する。 ・生産者におけるビジネス活動について 	<p>アの</p> <p>エの</p>	<p>行動観察(関心・意欲・態度)</p> <p>確認テスト(一次の最後) (知識・理解)</p>

	<p>て生産活動と販売活動の両面から理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の動向について製・配・販同盟の事例から理解を深める。 <p>3時間：売買業者のビジネスについて理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小売業者の役割は、商品の提供だけでなく、多くの役割がある事を理解する。 ・小売業の種類を業態別分類と業種別分類から理解する。 ・小売業者におけるビジネス活動について、チェーン方式のしくみを重点に理解する。 ・最近の小売業者をとりまく動向について新業態や商店街と大型店の関係や、情報ネットワーク化をより具体的に理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>外部講師による講義と実習 - 商品のパッケージング -</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・卸売業者の役割は、商品流通上における3機能によって商品流通を円滑にすることを理解する。 ・卸売企業は、商品流通上における3機能によって分類されることを理解する。 ・卸売業者のビジネス活動については、卸総合センターなどによる卸売り業務の合理化について理解する。 ・卸売業者の動向については、最近の卸売業者の経営の変化を理解する。 <p>・一次の確認テスト(15分)</p>	<p>エの</p> <p>アの イの ウの</p> <p>エの</p> <p>エの , (再掲)</p>	<p>確認テスト(一次の最後) (知識・理解)</p> <p>行動観察(関心・意欲・態度) 感想文(思考・判断) 感想文(技能・表現)</p> <p>確認テスト(一次の最後) (知識・理解)</p> <p>*「努力を要すると判断される」状況(C)と評価される生徒への手だて(4観点別評価の進め方を参照)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>身近にある生産者や小売・卸売業者をあげて、自分の生活との関連を考えさせる。また、ノートを点検し要点を整理し直したりさせるなど、個別指導を行い学習を支援するようにする。</p> </div>
<p>二次 2時間扱い</p>	<p>1時間：金融業者のビジネスについて理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融業者の役割は、資金の需要者と供給者の橋渡しをすることを理解する。 ・金融業者の種類について、設立された目的や業務内容によって分類分けされることを理解する。 ・金融業者におけるビジネス活動について、銀行と証券会社の業務について理解する。 ・最近の金融業者の動向について理解する。 <p>1時間：保険業者のビジネスについて理解させる。</p>	<p>アの エの</p>	<p>行動観察(関心・意欲・態度)</p> <p>確認テスト(四次の最後) (知識・理解)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・保険業者の役割は、リスクを相互扶助から経済的不安の解消であることを理解する。 ・保険業者におけるビジネス活動について保険業務以外の業務を理解する。 ・保険業者の動向について理解する。 		
三次 3時間扱い	<p>1時間：運輸業者のビジネスについて理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運輸業者の役割は、生産者と消費者の物理的な隔たりを解消することを理解する。 ・運輸業者におけるビジネス活動について、輸送業務以外の業務を理解する。 ・運輸業者の動向について理解する。 <p>2時間：情報通信業者のビジネスについて理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信業者の役割は、生活の利便性の提供などであることをより具体的な事例によって理解する。 ・情報通信業者の種類について理解する。 ・情報通信業者におけるビジネス活動について、技術革新によって発展している移動体通信関連、インターネット関連、情報サービス関連を中心に理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>調査・研究) 情報通信業者におけるデジタル放送の動向を調べ、情報・通信業者の新たな役割を考察して、デジタル新時代を創造してワークシートに記入する。</p> </div>	<p>工の</p> <p>工の</p> <p>アの イの ウの</p>	<p>確認テスト（四次の最後） （知識・理解）</p> <p>確認テスト（四次の最後） （知識・理解）</p> <p>ワークシート （関心・意欲・態度） ワークシート （思考・判断） ワークシート （技能・表現） *「努力を要すると判断される」状況（C）と評価される生徒への手だて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>4 観点別評価の進め方の関連箇所を参照。</p> </div>
四次 3時間扱い	<p>3時間：サービス業者のビジネスについて理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス業者の役割は、個人生活の快適性や企業経営の合理化を支援するなどの役割を理解する。 ・サービス業者の種類について日本標準産業分類から理解する。 ・サービス業者のビジネス展開上の留意点を理解することによりサービス業者の進展を考察する。 ・二次，三次，四次の確認テスト（15分） 	<p>アの 工の 工の</p> <p>（再掲）</p>	<p>行動観察（関心・意欲・態度）</p> <p>確認テスト（四次の最後） （知識・理解）</p> <p>ペーパーテスト（知識・理解） *「努力を要すると判断される」状況（C）と評価される生徒への手だて（4 観点別評価の進め方を参照）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>身近にある金融・保険業者、情報・通信業者及びサービス業者をあげて、自分の生活との関連を考えさせる。また、ノートを点検し</p> </div>

		要点を整理し直したりさせるなど、個別指導を行い学習を支援するようにする。
--	--	--------------------------------------

(注)「学習活動における具体的評価規準との関連」の中の ~ の番号は、前ページの小単元の評価規準における学習活動における具体的評価規準の番号と一致している。

【参考資料】

<「ビジネスの担当者」で使用するワークシート>

<h2>放送デジタル新時代を創造しよう</h2> <p>年 組 番・氏名 _____</p>	評価との 関 連
<p>1 放送のデジタル化のメリットを調べてまとめよう。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>	アの (関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度)
<p>2 放送のデジタル化が、自分の生活や経済にどのような影響を与えるか考えよう。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>	イの (思 考 ・ 判 断)
<p>3 10年後のテレビや携帯電話を含めた通信社会を創造しよう。 (文でも絵でも自由)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>	ウの (技 能 ・ 表 現)

4 観点別評価の進め方

ここでは、小単元「ビジネスの担当者」の三次の学習活動における具体的評価規準「おおむね満足できると判断される」状況(B)に照らして、ワークシート「放送デジタル新時代を創造しよう」の記述分析において「十分満足できると判断される」状況(A)と評価される生徒の具体的な状況例、及び「努力を要すると判断される」状況(C)と評価される生徒への手だての例を、以下にまとめた。

学習活動における具体的評価規準「おおむね満足できると判断される」状況(B)	「十分満足できると判断される」状況(A)と評価される生徒の具体的な状況例	「努力を要すると判断される」状況(C)と評価される生徒への手だて
---------------------------------------	--------------------------------------	----------------------------------

アの	<p>・情報通信業者における放送のデジタル化に関心を持ち、その動向やデジタル化の及ぼすメリットなどについて、意欲的に調べたりまとめたりしようとする。</p>	<p>・ワークシートの記述の分析から、放送のデジタル化の発展やそれが及ぼすメリットを調べるなど、デジタル放送がテレビに与えた影響に関心をもっていることが判断できる。また、放送のデジタル化がテレビ放送のサービスの改善に結びついていること（テレビの多チャンネル化や画像品質の改善など）を具体的な例を挙げてまとめていることが判断できる。</p>	<p>・インターネットを用いて情報の検索方法を指導し、自分の生活とのかかわりから放送のデジタル化のメリットについて関心を持てるように個別に指導・支援する。</p>
イの	<p>・情報通信業者におけるデジタル放送について、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識を活用して、放送のデジタル化が自分の生活や経済にどのような影響を与えるかをとらえている。</p>	<p>・ワークシートの記述の分析から、放送のデジタル化が、テレビジョン以外の放送サービスの機能の拡大につながっていることを、様々な角度から考察しようとしていると判断できる。また、放送サービスの機能の拡大（オーディオ放送、文字放送など）が自分の生活やこれからのビジネスにどのような影響を与えるのかについて、とらえようとしていると判断できる。</p>	<p>・放送のデジタル化が、テレビジョン以外の放送サービスの機能の拡大につながっていることを実際の例を挙げて示すなど、自らの直接的な結びつきを認識させることによって、様々な角度から考察させるように個別に指導・支援する。</p>
ウの	<p>・情報通信業におけるデジタル化が、10年後のテレビや携帯電話を含めた通信社会にどのような影響を与えるかについて、様々な資料を活用して把握するとともに、新しい生活様式を創造しその結果を具体的に説明する。</p>	<p>・ワークシートの記述の分析から、情報通信業におけるデジタル化が、通信サービスの多様化（データ通信、画像通信等）と放送サービスの多様化（オーディオ放送、文字放送、パソコンや携帯電話向け放送、双方向サービス等）につながり、10年後は新しい生活様式が創り出されていることについて、様々な資料を活用し、現在のテレビや携帯電話と比較するなどして分かりやすく表現していると判断できる。</p>	<p>・双方向データ通信技術の及ぼす利便性の拡大について、携帯電話の利用方法などを挙げて、具体的にアドバイスをを行い、自らの生活の向上について創造させるよう個別に指導・支援する。</p>

【評価の実際】

< 図1 > Aさんのワークシート

<h2 style="margin: 0;">放送デジタル新時代を創造しよう</h2>	
1	<p>放送のデジタル化のメリットを調べてまとめよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>従来のTV放送のようにアナログ信号で回線を通すと、伝送の途中で画質などが落ちてしまう。しかし、デジタル信号になればそのようなことが起こらず、電波が届けばどこでも画質は常にきれいになる。これは音声においても同様である。デジタル化に伴い、もっとも大きなメリットは見るTVから使うTVになるということである。具体的には、番組と連動した情報や最新のニュース・地震気象情報、身近なくらしの情報などをリモコン操作でいつでも調べることができる。また、自分が見たい番組を選択することで決まった時間でなくても見ることができる。</p> </div>
2	<p>放送のデジタル化が、自分の生活や経済にどのような影響を与えるか考えよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>デジタル放送になると、自分の必要とする情報をいつでもTVから得ることができるようになる。もっとも身近である電子機器のTVから多くの情報が得られるということは大量の情報が自然に入ってくるということだと思ふ。インターネットを使って調べるほど詳しい情報を得ることはできないにしても、TVからの情報が増えるということはいいいことだと思ふ。経済への影響ですが、最も大きく早く出るのはTVメーカーではないだろうか。デジタル放送を受信できるTVは必ず必要となっていくので需要は確実に見込める。これは当たり前の</p> </div>

ことだが、このTVの買い替えがもたらす経済効果は大きい。

3 10年後のテレビや携帯電話を含めた通信社会を創造しよう。(文でも絵でも自由)

(テレビ)

・受信だけでなく送信もできるようになりTV番組に直接参加できるようになる。
今は、テレビの前に座って送られてくる画面や音声を聞くだけであるが、テレビからの質問に答えたり、テレビで買い物ができるようになっていると思う。

(携帯電話)

・高性能な携帯子機(電話)によってTVや情報がいつでもクリアに見ることができるようになる。

今は、私の携帯電話でテレビを見ることができないが、10年後には好きな番組を見ることができるようになっていくと思う。

【記録分析による評価】

ここでは、小単元「ビジネスの担当者」で使用するワークシートの「放送デジタル新時代を創造しよう」について、様々な資料を収集し、調べ、考察するとともに、結果をまとめる資質や能力を、関心・意欲・態度(アの), 思考・判断(イの), 技能・表現(ウの)の観点から評価した。評価方法としては、ワークシートの記録に表れた状況の分析(記録分析)を用いた。

<関心・意欲・態度>

ア 「放送のデジタル化のメリットを調べてまとめよう。」

ここでは、ワークシートの記述の分析から、放送のデジタル化のメリットについて、アナログ信号による情報の通信とデジタル信号による情報の通信の違いを挙げて放送のデジタル化のメリットをまとめている。また、より大きなメリットとして「見るTVから使うTVになる」と具体的な例を挙げてまとめているので、この評価については、「十分に満足できると判断される」状況(A)とした。

<思考・判断>

イ 「放送のデジタル化が、自分の生活や経済にどのような影響を与えるか考えよう。」

ここでは、ワークシートの記述の分析から、放送のデジタル化が、まず自分の生活に与える影響について、TVから自分の必要とする情報をいつでも得ることができるようになることを挙げて考察しようとしていること。また、経済に与える影響については、デジタル放送を受信できるTVへの買い換えの需要がおり、それが経済効果につながると具体的にとらえていることから、この評価については、「十分に満足できると判断される」状況(A)とした。

<技能・表現>

ウ 「10年後のテレビや携帯電話を含めた通信社会を創造しよう。」

ここでは、ワークシートの記述の分析から、10年後の通信社会をテレビと携帯電話に分けて、現在の放送のデジタル化のメリットを上回る利用の仕方を一応示しているが、根拠となる資料の活用例及び具体的な状況例が(A)の状況に示すように分かりやすく表現できていないと判断したので、この評価については、「おおむね満足できると判断される」状況(B)とした。

5 観点別評価の総括

ここでは、ビジネス基礎の単元「ビジネスと流通活動」を受けて設定した小単元「ビジネスの担当者」の指導と評価の計画に基づき、それぞれの評価の観点における評価規準に従って、評価方法等を工夫し学習活動のまとめりにごとに評価を実施した。そして、学習活動のまとめりにごとに得られた観点別評価を総括し、小単元における観点別評価とした事例を紹介する。

【観点別評価の総括の考え方(観点ごとの評価ABCの決定)】

観点別評価を総括する方法は、次のとおりとした。

- (1) 「十分に満足できると判断される」状況(A)と評価する数が、その観点における学習活動の具体的な評価規準に照らして評価した結果の半数以上であれば、(A)とする。ただし、「努力を要すると判断される」状況(C)と評価する数が半数ある場合を除く。
- (2) 「努力を要すると判断される」状況(C)と評価する数が、その観点における学習活動の具体的な評価規準に照らして評価した結果の半数以上であれば、(C)とする。ただし、(A)と評価する数が半数ある場合を除く。
- (3) 上記以外及び(A)、(C)と評価する数がともに半数ある場合は(B)とする。

【事例(Aさん)】

次程	時間	学習活動	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
一次	4時間	・生産者のビジネスにつ	B			

		いて理解する ・小売業のビジネスについて理解する ・商品のパッケージに関する講義と実習 ・卸売業のビジネスについて理解する ・一次の確認テスト	A	B	B	
二次	2 時間	・金融・保険業者のビジネスについて理解する	B			
三次	3 時間	・運輸業者のビジネスについて理解する ・情報・通信業者のビジネスについて理解する ・調査研究のワークシート	A	A	B	
四次	3 時間	・サービス業者のビジネスについて理解する ・二,三,四次の確認テスト	B			A
観点別の総括			B	A	B	A

本事例のAさんの小单元「ビジネスの担当者」における観点別評価の総括は、

「関心・意欲・態度」では、B A B A Bで、上記の評価を総括する方法の(3)を採用して「B」

「思考・判断」では、B Aで、上記の評価を総括する方法の(1)を採用して「A」

「技能・表現」では、B Bで、上記の評価を総括する方法の(3)を採用して「B」

「知識・理解」では、A Aで、上記の評価を総括する方法の(1)を採用して「A」

であると判断した。

なお、单元によって重視する観点や評価規準があれば、評価の前の段階であらかじめ重み付けをしたり、より信頼ある評価結果を得るために評価回数を多くしたりするとともに、観点の趣旨にふさわしい評価方法を適切に選択して組み合わせるなど工夫することが必要である。また、この外にも、单元における観点別評価の総括については、様々な考え方や方法があり、各学校において工夫することが望まれる。